

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
平成29年度第2回 臨時理事会
議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
平成29年度第2回 臨時理事会議事録

日時 平成29年11月16日(木)
午後3時30分 開会
場所 調布市文化会館たづくり11階
1103学習室

出席役員(8人)

理事長	武者小路 知行
常務理事	大 木 正 勝
理事	柏 原 公 毅
理事	岩 本 宏 樹
理事	安 本 登喜子
理事	濱 嶋 稔

監事	新 井 七 吾
監事	源 後 哲 郎

事務局	局長代理	福 島 さとみ
	主幹	生 野 正 毅
	次長	伊 藤 陽 子
	総務係主任	石 井 めぐみ

陪 席	郷土博物館	館長	高 野 千 尋
		副館長	福 澤 明
		主任	高 木 政 明

(午後4時15分 閉会)

[議事次第]

第1 議題

(1) 審議事項

- ア 議案第1号 議事録署名人の選出について
- イ 議案第2号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算(案)について

(2) 報告事項

- ア 報告第1号 DMM GAMESゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画の実績報告について
- イ 報告第2号 調布市武者小路実篤記念館の作品・資料収集について
- ウ 報告第3号 宮崎県高鍋町美術館 特別展「武者小路実篤・新しき村人間萬歳」開催及び日向新しき村訪問について

2 その他

○事務局

本日は、年末に向けてお忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。お知らせにありましたとおり、臨時理事会及び臨時評議員会を合同で開催させていただき運びとなっております。

まず、審議に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきたいと思います。

まず最初に、本日の次第でございます。その後ろに、議案第1号「議事録署名人の選出について」、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算（案）の承認について」、これの後ろには、補正予算の案として数字を書いた表がついておりますので、ご確認いただきたいと思います。審議事項はこの2つでございますが、合わせまして、報告事項として、皆さんのお手元のクリアファイルの中に、3種類、報告事項の資料が入っております。報告第1号は、この夏、実篤記念館でやらせていただきましたDMM GAMESの「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画についての実績報告、それから、アンケート。それと、2番目は、先日、実篤記念館の作品・資料収集のための調布市美術資料等収集委員会を開かせていただきまして、これまで寄託されていた武者小路実篤の作品について、同委員会で審議した結果をお伝えいたしたいと思います。それから最後、報告第3号でございますが、11月当初から、私どもの受託事業として、宮崎県高鍋町美術館で、特別展「武者小路実篤・新しき村人間萬歳」を開催しておりますので、その開催の状況と、日向新しき村に、理事長を初め、私どもの職員も訪問しておりますので、その状況について、ご報告をさせていただきたいと思います。

資料でお手元にないもの等がございますか。

○小西評議員 予算案のお金のやつが見当たらないんですけど。

○柏原理事 送られてきたほうに入っていました。

○小西評議員 事前なの？ ごめんなさい、事前であればあります。

○事務局 よろしいでしょうか。

それでは、お時間になっておりますので、ただいまから、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第2回臨時理事会及び第1回臨時評議員会を開催させていただきます。

本日の会議でございますが、日程及び時間の調整をさせていただいた結

果、理事及び評議員の方がお集まりいただける日時が本日のこの時間帯のみとなってしまうことから、大変恐縮ではございますが、勝手ながら、臨時理事会と臨時評議員会を合同で開催させていただき運びとさせていただきます。そのため、今回は理事会による先ほどの2つの議題の審議、それから、評議員会へ、その結果を報告するというを同時に行わせていただくこととなりますので、この点、あらかじめご了解賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これから第2回臨時理事会及び第1回臨時評議員会を開催させていただきます。

まず初めに、本会議の議長の選出を行わせていただきたいと存じます。本会議は、先ほど申し上げましたとおり、臨時理事会と臨時評議員会の合同開催であります。私ども一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款の定めによりますと、第33条の規定において、理事会の議長は理事長にお願いすることになっております。また、評議員会の議長は、同じく定款第18条の規定により、評議員会に出席されている評議員の中から選出をお願いすることになっております。規定がそれぞれ違っておりますが、本会議の議長の選出については、いかがいたしましょうか。

(「事務局一任」)

○事務局　ありがとうございます。ただいま事務局一任というお声をちょうだいいたしました。私ども事務局で議長を決めさせていただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○事務局　ありがとうございます。異議なしというお言葉をいただきましたので、事務局から議長をご指名させていただきたいと存じます。

武者小路知行理事長に、議長として全体の議事進行をお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○武者小路議長　それでは、ご指名で私が議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

議事に入ります前に、本日の臨時理事会、臨時評議員会の効力について、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局　本臨時会の効力について、ご説明申し上げます。本会議につきましては、現時点におきまして、評議員会の評議員5名の中で、現在4名、それから、理事会の理事6名のうち6名、それから、監事お二人のう

ち、お二人に出席していただいております。定款第19条及び第34条において、過半数以上の出席をもって会議が成立するとしておりますので、この会議については、定足数に達していることをご報告させていただきます。

以上でございます。

○武者小路議長 定足数に達しているということですので、これより議事次第のとおり進めてまいります。

初めに、議案第1号「議事録署名人の選出について」、これは評議員会の署名人を選出するものです。この件を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○事務局 議事録署名人の選出でございます。今、議長からご説明がありましたとおり、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款第22条第2項の規定に基づき、出席した評議員の皆様の中から、お二人を選出することになっています。選出については、いかがいたしましょうか。

(「事務局一任」)

○事務局 ありがとうございます。ただいま事務局一任とお声をいただきましたが、私どもに一任させていただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○事務局 ありがとうございます。それでは、大変恐縮ですが、小西聡評議員と齋田文雄評議員を議事録署名人に選任させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○武者小路議長 それでは、続きまして、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算(案)について」を議題といたします。

事務局から提案理由をご説明願います。

○事務局 それでは、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算(案)について」、ご説明させていただきます。

議案第2号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算の承認について。上記の議案を提出する。平成29年11月16日。提出者 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長 武者小路 知行。

提案理由。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第8条の規定により、理事会の決議を求めるため提案するものでございます。

それでは、補正予算案の表をごらんいただきながら、ご説明させていただきますと思います。今回の補正予算は、後ほど詳しくご説明させていただきますが、主に8月に開催いたしましたゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画と、現在、高鍋町美術館で開催されております特別展「武者小路実篤・新しき村人間萬歳」にかかわる事項で、補正予算をお願いするものでございます。

1 ページ、収支予算書の総括表、I 事業活動収支の部の事業活動収入をごらんください。

6 自主事業収入、2 物品販売事業収入でございます。当初予算額400万円に対して、245万円の増額補正となり、補正後の合計が645万円となります。そして、補正後の事業活動収入の全体では1億3,586万7,000円となります。コラボ期間中に、コラボグッズ以外にも当館の定番グッズの売り上げが伸びたことにより、期間中全体で312万円余りの収入となり、収入の大幅増となりました。このため、当財団では、例年、後半期にカレンダー、バレンタインシーズンに展開する限定チョコレート販売により収入が伸びることから、これまでの実績から、今後見込まれる収入を補正するものです。

2 事業活動支出でございます。増額収入に対する支出となります。

4 自主事業、2 物品販売事業費で、当初予算額が414万円でしたが、補正額は233万円、補正後の合計金額が647万円となります。

次に、3 自主事業では、当初77万5,000円で、補正額は12万円、補正後の合計金額が89万5,000円となります。これは主にコラボ企画での仕入費とコラボ企画にかかわる費用の増による補正でございます。

これによって、事業活動支出は、当初予算1億3,341万7,000円に補正額245万円を足して、合計1億3,586万7,000円となります。収支差額はゼロとなります。

3 ページ以降は、支出内容の説明でございます。3 ページ、2 事業費でございます。これは予算の組みかえをお願いするものでございます。

4 受託事業費で、3 の役務費は、当初256万円が補正額が18万円の減額、補正後が238万円となります。

5 使用料及び賃借料で、当初12万円に対し、補正額では役務費減額分の18万円を増額し、補正後の合計が30万円となります。これは高鍋展の準備のため、最終的な契約段階で、展覧会の内容を充実させるために加えられた内容で、新しき村美術館の作品借用料を契約内容に含めたために、使用

料の増となりました。この財源として、美術品運搬や展示作業にかかわる経費に差額が出た分を充てる必要が出たため、予算の組みかえの補正をお願いするものでございます。

次に、4 ページ、4 自主事業費でございます。

2 物品販売事業費で、1 消耗品の補正費が3万円の増額で、補正額の合計が18万円です。これはグッズ販売用の紙袋等の用度品の購入の費用が増額になっております。

2 商品仕入れの補正額が220万円増で、補正後の合計が540万円になります。コラボ期間のグッズ販売が好評であったことから、定番のグッズの仕入れと、今後予定される限定チョコレートの仕入れ費用に当たります。

7 公租公課の補正額は10万円増、補正後の合計が40万円となります。収入増による税金の支払い増が見込まれるため、増額をお願いするものであります。

これにより、2 物品販売事業費は、当初予算414万円のところ、補正額は233万円の増となり、補正後の合計額が647万円になります。

次に、3 自主事業費、5 委託料でございます。補正額は5万円の増で、補正後の合計額が20万円となります。これはコラボ企画のパネル製作費等にかかった費用分を増額するものでございます。

8 備品費でございます。補正額は7万円増で、補正後の合計額が24万円となります。昨年度、空調機器を入れかえましたが、稼働後、湿度の高い状況が続いていたことから、緊急対応として、展示室に1台、除湿器を購入したものでございます。この費用分を補充するための補正額でございます。なお、現在は外気の湿度が抑えられていることから、日常の空調機器管理の範囲で適切な温湿度を保っております。また、湿度管理の問題を解決するために、現在、来年度の予算で、除湿機能の強化を図る機器を追加する工事をお願いしているところでございます。

3 自主事業費は、当初予算額77万5,000円に対し、補正額は12万円増で、補正額の合計額が89万5,000円となります。

よって、4 自主事業費全体では、当初予算額が492万5,000円のところ、補正額が245万円、補正後の合計額が737万5,000円となります。

以上で、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算（案）の説明を終わります。

○武者小路議長　ただいま事務局から説明がありました議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算（案）」

について」、ご質問はありませんでしょうか。

○小西評議員 確認ですけど、一応、今回の補正の分は、インとアウトともに、コラボ企画に伴う物販の増という理解でおりますが、内訳ではないんですけれども、今回のグッズ、要は記念館オリジナルのものとDMMから仕入れたグッズ、最後のページの内訳がグッズ仕入費と書いているので、そこがあまりオープンでなくてもよろしいかとは思いますが、結局、従来予算で見込んでいないじゃないですか、これから先も売れる分というのが予算に入っていました。予算で見込んでいたよりもお客さんがたくさん見えたので、たくさん売れました。それに対する仕入れなので、その期間中にインとアウトが整合しちゃっているものなのか、それとも、ここから先、もうちょっと売れるかもしれないから、余力を持った仕入れをやって、これから先の分も仕入れ料も増やしているような仕入れなのか、どちらなのか、この資料だけではわからなかったんですけど、いかがですか。

○事務局 実際は、8月の物販では312万4,000円売れました。財団のグッズとしては142万9,000円余り、文アルグッズが169万5,000円余り売れている状況でございます。今回の220万円に関しては、半分近くが冬の限定のチョコレートの予算になります。それから、それ以外で定番のグッズがかなり品切れになっておりますので、それをプラスするということで、チョコレートは年度内にほぼ売り上げてしまうと思いますが、定番グッズについては、在庫が少なくなっているものを補充しますので、ある程度、来年度以降も在庫が残るという状態でございます。

○小西評議員 要は、自転車操業で出た分だけ仕入れたというのではなくて、少し残る系の仕入れということですね。

○事務局 少し残る形でございます。

○小西評議員 はい、わかりました。

○武者小路議長 よろしいでしょうか。

そのほかに、ご質問はございませんか。

(「なし」)

○武者小路議長 それでは、異議なしと認め、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第1回補正予算(案)について」は、了承することと決定いたしました。

また、この議決をもって、評議員会への報告とさせていただきます。

議案については以上になります。

続きまして、報告事項です。それでは、報告事項を事務局からお願いいたします。

○事務局　それでは、報告事項として、私から2件の報告をさせていただきます。

まず、報告第1号「DMM GAMESゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画の実績報告について」、ご報告いたします。

報告第1号「DMM GAMESゲーム「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画の実績報告について」。上記の報告をする。平成29年11月16日。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長 武者小路 知行。

お手元の資料などもごらんいただきながら、ご説明をさせていただきたいと思います。

本年の8月2日から27日の期間、オンラインゲームの「文豪とアルケミスト」とのコラボレーション企画を開催いたしました。内容につきましては、お配りいたしましたチラシに、内容が箇条書きになっております。それから、私どもでつくりました報告に、展示室等の様子の写真などがございますので、こちらをごらんください。それから、お配りしたものは、今のチラシの裏がクイズになっておりまして、もう1枚がその回答書、それから、クイズに答えられた方に差し上げている特典のポストカードをお配りしてございます。

期間中、3,328人の方に、ご来館いただきました。これは昨年度の同期間の3倍を超える人数になっております。コラボへの来館者は、20代から30代の女性が中心で、これまでとは違う層の来館につながりました。来館者は、開催中の夏休み企画展を大変熱心に見学されておりまして、マナーもよく、通常の来館者も好意的に捉えてくださっていました。

ゲームユーザーはツイッターに情報を頼る傾向があるということでしたので、コラボ企画にあわせて、独自ツイッターのアカウントを取得して、ツイッターでの発信を開始し、事前に注意事項を周知し、また、来館者の疑問や要望を捉えて迅速に発信して、細やかに対応したことがスムーズな運営につながったものと考えております。

また、アンケートの回答が1,678件に上りました。お手元に集計データをお配りしております。通常は5%から10%程度の回収率に対して、この期間は50%の回収率ということで、非常にたくさんの回答をいただきました。集計のグラフとアンケートにかなり多くの書き込みをいただきましたので、その代表的なものをコピーでお配りしております。こういった

ものから、ご意見、それから傾向などを拾いまして、私どものこれからの事業活動に役立ててまいりたいと思います。こちらのアンケートの内容もですけれども、最後に、東京都以外からの都道府県からの来館についてもまとめておりますが、ほぼ全国からの来館ということで、こういった企画の力というものをあらわしているかなと考えております。

続きまして、報告第2号「調布市武者小路実篤記念館の作品・資料収集について」を報告させていただきます。

報告第2号「調布市武者小路実篤記念館の作品・資料収集について」。上記の報告をする。平成29年11月16日。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長 武者小路 知行。

こちらもお配りしました資料を見ながら、ご説明をしてみたいと思います。

このたび、武者小路実篤の小説「真理先生」の原稿を調布市美術作品等取得基金によって購入することが決定いたしました。「真理先生」の原稿は個人が所蔵しており、当館は、開館当初から、展覧会のたびに借用し、さらに、平成17年度からご寄託をいただいております。「真理先生」は、武者小路実篤の主宰雑誌「心」に昭和24年1月から昭和25年12月にかけて連載され、昭和26年4月に出版された単行本がベストセラーとなり、実篤の戦後の文壇復帰作となった重要な作品です。お手元にお配りしました中に、作品の概要と、それから、平成21年度に開催いたしました春の特別展の「“馬鹿一もの”の世界」のパンフレットから「真理先生」のページをコピーしたものをお配りしておりますが、こちらにありますとおり、原稿は和とじ9分冊になったものが帙におさめられておりました。今回、こちらを取得することになったものでございます。今お配りしておりますコピーの右上にございますが、昭和26年の4月に出版されたものが年末までに10巻を重ねるというヒットになった作品でございます。

このたび、所蔵者から、実篤記念館の資料として購入してほしいという旨の申し出があり、これを受けて、11月10日に調布市美術資料等収集委員会を開催し、承認いただき、購入が決定いたしました。武者小路実篤の思想が色濃く反映された作品であり、今後も展覧会での展示や実篤研究に活用してまいります。今年度におきましては、今年度最後の展覧会ですが、3月17日から開催する企画展「筆の向くまま 実篤の自筆原稿展」で展示を予定しております。

この2点につきましての報告は、以上でございます。

引き続き、報告第3号をご説明させていただきます。

報告第3号「宮崎県高鍋町美術館 特別展「武者小路実篤・新しき村人間萬歳」開催及び日向新しき村訪問について」。上記の報告をする。平成29年11月16日。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長 武者小路 知行。

報告第3号の資料でございます。もしかしたら何度か見ていただいているかもしれませんが、高鍋町美術館のチラシ、それから、現在開催されております目録、そして、高鍋町美術館に私どもが展示作業から参りました様子を撮りました写真と、それから、もう1枚が宮崎県日向新しき村の現状のお写真でございます。それと、私どものオープンのときの展覧会の様子の記事と、それから、理事長が日向新しき村に初めて訪問したということが宮崎日日新聞に掲載されましたので、そのコピーをあわせてご紹介しております。

今年度の受託事業として、宮崎県高鍋町美術館で、現在、「武者小路実篤・新しき村人間萬歳」展を11月3日から12月3日まで開催しております。10月下旬から作品の運搬や展示作業をし、11月3日から無事開催することができました。オープンの前日の開会式には、理事長もご出席いただきまして、展示の様子にもありますように、ご挨拶をいただいたり、テープカットということで開会式にご参加いただき、また、地元の関係者の皆様に、ご挨拶と情報交換をさせていただきました。

展覧会は、当館新しき村美術館、日向新しき村や木城町役場の所蔵品、合計107件が展示されており、新しき村・武者小路実篤の美術世界を表現した充実した展覧会となっております、ご好評をいただいているようでございます。また、ゲーム「文豪とアルケミスト」のパネル展示も行っており、九州地方を中心に、ファンが展示を見に来ているとの報告も高鍋町美術館よりいただいております。詳しくは展覧会チラシや出品目録、それから、開会式の写真記事等をごらんいただければと思います。

合わせて、日向新しき村の現状写真をまとめたものをお配りしておりますので、こちらをごらんいただきながら、ご説明させていただきます。

高鍋展を機会に、来年、創立100周年を迎える新しき村の創設地である日向新しき村を訪問し、現状の様子の記録、生活されている3人の方々、地元、石河内地区の方や木城町役場の方々ともお会いして、現状の把握や情報の交換をしてまいりました。

11月3日には、理事長も初めて日向新しき村を訪問されております。

現在は、2家族3人の方が生活しております。以前は稲作を中心にしておりましたが、現在は養豚や養鶏が主で、このほか、野菜づくりをしている状況でございます。建物は、実篤が住んでいた家がかろうじて残っております。また、新しき村創立80周年記念事業でこの家を復元した記念館と各家族の家が点在している状況でございます。

また、写真の上段に武者小路実篤文学ロード入口というのがございますが、これは切り立った小丸川の溪谷の崖を縫うようにある実篤がいたところからつくられたトロッコ道をもとに新たに建設された道路で、木城町の川原から石河内までの間にある橋やトンネルの名に、実篤の作品や言葉が使われているという状況でございます。

今年度は、高鍋展会期末に合わせ、再び高鍋町美術館も訪れ、撤去、返却の作業を進めますが、それと合わせて、日向新しき村を再び訪れまして、現在の村の記録映像による撮影をさせていただこうと予定しております。

これらを合わせて、来年の新しき村創立100周年記念事業の準備を進めてまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○武者小路議長　　ただいま報告第1号から第3号まで、まとめて報告していただきましたが、ご質問はございますでしょうか。

○小西評議員　　質問じゃないんですけど、よろしいですか。

○武者小路議長　　はい。

○小西評議員　　「文豪とアルケミスト」とのコラボ企画に関しては、大変ご苦勞をなさったと思っております。ツイッターとか、実際、私もずっと動向を見ておりました、開館の前の晩から、行くのを楽しみにしているという方のツイートを、「実篤」というキーワードで、ずーっと拾って見ていたんですが、すごい楽しみにしておられて、朝一の電車に乗って行くとか、早く来ると迷惑をかけるから、開館ぎりぎりに行くように時間を調整して行こうというのも見えたり、あと、祝日は混むかなとか、皆さんいろいろ考えながら、期間中、非常に楽しみになさって、夏休みで、地方とか、東京都の近在以外から来られるとか、あと、女の子が多いので、高校生は遠出できないから、親と一緒に来るというのもあったり、瀧田先生が言われた、記念館がふだん見たことがないような状況になっていまして、私も展示解説を含めて3回ぐらい伺ったんですけど、いつ行っても人がいて、しかも、見たことがないような若い女性の方が多くて……。ここはどこかみたいな感じでした。おじさんは肩身が狭いみたいな、そういう。

いつもは展示解説は中高年の方ばかりで、私が一番若いぐらいなんですけど、それとは全然違い、私が一番年上みたいな、ものすごい若い方が来られて、解説当日のご判断で2班に分けていますというすごいことになりまして、普通、展示解説は1グループで回るんですけど、人が多過ぎるので、パニックにならないようにということで、急遽、2つの班に分けて同時に回すという、前代未聞の離れわざをなさったのを目の当たりにして、非常に感激いたしました。ほんとに事故もなく、終わってからも、がっかりしたとか、期待したのと違ったとか、行くんじゃないじゃないですけど、非常に悪い評判というのは、ツイッターでは1つも見ていません。悪いと思った人は書かないのかもしれないですけど、それにしても、館の方が非常に優しくて、暖かく迎えてくれたというか、いろいろ丁寧に教えてくださって、すごい雰囲気がよくてよかったですとか、資料室でずっと本を読んでしまって、1時間、2時間、3時間、ずっといたとか、あと、公園の蚊がひどいとか、それだけはありましたけど、それ以外は、皆さん、ものすごく喜んで帰っていかれたという印象があって、今年は非常にエポックな年でよかったし、館の方々、事務方の方を含めて、非常にご苦労の上、ご対応なされたと聞いておりますので、大変お疲れさまでしたと申し上げたいと思います。

○武者小路議長　　ちょっとつけ加えさせていただきますけど、私も、できるだけ、週末に顔を出すようにしていました。何人かのプレーヤーというんですか、彼女らの間では「特務司書」と呼ぶそうで、司書さんとお話をさせていただいたんですが、その中で、鹿児島から来たという女性が、日向の村にも行って来たと言っていたんですね。ですから、ただ単にゲームでのミーハー的なものではなくて、ほんとに、もっと実篤を知ろうという気持ちが伝わってくるというか、ご承知のとおり、日向の村は、それじゃ、ちょっと行ってみましょうかと言って行けるところじゃないものですから、若い女の子がそういうところまで足を伸ばしてくれたということに感動すら感じたんです。

それと、高鍋町の展覧会でも、一般開館の日、ちょっと見たんですけども、記念館に来ていた子じゃないかなという子が何人か高鍋の美術館にも来ていたような感じがありましたので、ゲームもばかにならないというか、我々の年ではちょっと思いつかないような入り口というか、新しい入り口があって、若い人たちに、少しは実篤について知ってもらえたんじゃないか、やってよかったと。正直、やる前は、万が一、客が来なかったり、

いろいろな批判も受けるんじゃないかと、ちょっと不安もありましたけれども、おかげさまで、今、小西さんからもお話があったとおり、皆さんにも結構いい評価をいただいたようで、ほんとによかったなと思っております。

○安本理事　私もよろしいですか。

○武者小路議長　はい。

○安本理事　お疲れさまでした。私も一度、ちょうど理事長がいらっしゃる時に見させていただいたんですけれども、つかまっちゃって、理事長にさよならを言うこともできず、そういう状況で、館の皆様もほんとにお忙しいだろうなと思って、拝見しながら帰ってまいりました。

内容もさることながら、特にクイズの用紙を用意されたことが、どのように館の展示を見ればいいのかという見方を1つ提示されていた。やっぱり、詳しく勉強してこなかったら、どこを見ていいのかがわからなくて、すーっと通ってしまうということになりがちだと思うんですね。この後、見方カードなんかもつくっていらっしゃるようなんですけれども、内容を提示すると同時に、博物館、美術館の使い方を、こういう小さな美術館なんかで地域の子供たちに身につけさせて、そして、ああいう大きな美術館にも行ってみようかな、博物館にも行ってみようかなというきっかけにする役割も担っているのではないかなと思いました。

以上です。

○武者小路議長　ほかに、何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○瀧田評議員　それに関連しての質問なんですけれども、せっかくここでついでくださった関心を持っている方に対して、今後、ゲームとのコラボレーションがまだあり得るのか、あるいはキャラクターとか、そういう展示の可能性とか、グッズをつくっていくのかというような、コラボ企画で関心を持ってくださった方に対する今後考えているアプローチは何かあるのかということ伺いたいんですが。

○事務局　まず、ゲームとのコラボに関しては、ゲーム側のご意向もあるので、今、特に具体的には決まっていはいないんですが、アンケートとか集計できる内容のことではなくて、感想などで、こういう内容の展覧会に興味があるというようなことをかなりお書きいただいていますので、そういったニーズに対して応えていくということは、来年度の展覧会あるいは行事を企画する中で、考えて取り込んでいきたいと思っています。その後、展覧会を2つ開催しているんですが、コラボと関係ない展覧会になってか

らも来てくださっている方々が一定数おられ、そういった方は、ゲームから離れた実篤に関する内容にも興味を持ってくださっていると感じておりますので、それに応えていく形、それから、常に情報を発信していくことが興味を持続することになると感じておりますので、ツイッターの運用も、コラボの情報が終わっても、現在も実篤に関する情報をこまめに上げるような努力をしております。コラボあるいはキャラクターに関するグッズを開発するかということに関しては、DMMさんは、この後、当館とではない、それ以外でのコラボのやり方について考えていると伺っていますので、そういった中で、また機会があれば、考えていきたいと思っています。

○瀧田評議員 わかりました。今、学校でもアクティブラーニングというのがよく言われていて、クイズなど、記念館とか文学館は、アクティブラーニング的なものが関心を引きつけるんだなと思いました。よい企画だったと思います。

以上です。

○武者小路議長 ほかにございませんでしょうか。

(「なし」)

○武者小路議長 よろしいでしょうか。

それでは、質問が終わったということで、報告事項を終了させていただきます。

以上で、本日予定していた案件は全て終了いたしました。

これをもちまして、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館平成29年度第2回臨時理事会及び第1回臨時評議員会を閉会させていただきます。ご協力どうもありがとうございました。

(午後4時15分 閉会)